

映像演出家がつくった、この国でいちばんチャームな図書館！

2012年冬 文屋最新刊

その秘訣は……人の力をグイグイ引き出す「わくわく演出マネジメント」術！

はなぼん

わくわく演出
マネジメント

四六判並製本 260ページ
定価 1,575円 (本体 1,500円+税)
ISBN 978-4-9905552-7-6 C0034 ¥1500E

演出家

まちとしょテラソ前館長

花井裕一郎

長野県でいちばん小さな町の小さな図書館を

「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2011」へ導いた花井裕一郎前館長。

20年にわたって東京で映像演出家として活動した経験を元に、自ら開発した「わくわく演出マネジメント」で場の力を取り込み、人の力を引き出し、わくわく心が躍るクリエイティブな交流空間を生み出してきました。

図書館運営に限らず、誰もが、組織や企業、コミュニティなどあらゆる場所に応用することができる「演出マネジメント」21の秘訣を、多彩な事例とともに初公開！

はなぼんの演出マネジメント 21の秘訣！

- その1 もてなす
- その2 空気をつくる
- その3 記録する
- その4 飛び込む
- その5 率いる
- その6 募る
- その7 原点に帰る
- その8 議論を尽くす
- その9 ビジョンを描く
- その10 巻き込む
- その11 祭る
- その12 受け継ぐ
- その13 交わる
- その14 冒険する
- その15 獲る
- その16 引き出す
- その17 自立する
- その18 枠を外す
- その19 編集する
- その20 道草する
- その21 ないのに、ある



出版記念
「文屋座」
を開催します。
詳しくは裏面を
ご覧下さい！

花井裕一郎
はない ゆういちろう

演出家。「まちとしょテラソ」前館長。NPO 法人オブセリズム設立準備室代表。

1962(昭和37)年福岡県筑豊生まれ。1989年～1994年、フジテレビジョンにて番組演出。1994年～1996年、NHK、TBS、日本テレビ、東芝EMIにて番組、PVの演出。2000年より長野県小布施町を拠点とする。2002年、小布施堂文化事業部長に就任。2003年～2009年「60秒シネマコンペティション」事務局担当。2007年より「おぼせTシャツ畑」ディレクター。2007年12月～2009年7月、小布施町立図書館館長として新図書館準備室勤務。2009年7月～2012年11月、小布施町立図書館「まちとしょテラソ」館長。

「ないのにある」＝「存在そのものは目に現ることが出来ないが、そこにはエネルギーが存在する」ことを体感しながら、本来の人間の姿・生き方を模索し、創作活動を展開。

主な映像作品は、「中田久美 密着400日」(1992)、NY、ブラジル、ジャマイカ、プエルトリコ、ドミニカ共和国、キューバ等の音楽ドキュメンタリービデオ演出(1996～2001)、ROEN MOVIES(2001)、OBSESSION MOVIES(2001～2007)、ドキュメンタリー「カカオロード～歴史に刻まれた生命の糧～」(監督、2004)、THE MODS「LIVE WITH ROCK'N'ROLL」プロモーションビデオ(2004)。

関連図書「しあわせな仕事の見つけ方、つくり方～共感・応援の時代の仕事道～」(ワニプラス、久米信行著)。

編集・発行

文屋
bun ya

〒381-0204長野県上高井郡小布施町飯田45 TEL. 026-242-6512 FAX. 026-242-6513
e-mail: bunya@e-denen-net http://www.e-denen.net

ご注文・ご予約は、下記申込用紙にご記入の上、文屋宛に FAX でお送り下さい。e-meil、お電話、文屋サイトでも承ります。

《お取り扱い》 文屋、まちとしょテラソ、ア・ラ小布施ガイドセンター、駅の六斎舎

書籍ご注文・文屋座お申込み票

●書籍購入

『はなぼん わくわく演出マネジメント』	1,575円	冊
---------------------	--------	---

●出版記念 文屋座に参加します (左欄に○印をご記入ください)

お話の会(18:30～19:50)	2,000円
お祝いの宴(20:00～)	5,000円

FAX. 026-242-6513

お名前	
ご住所	
お電話	
e-mail	

スタッフやお客様がわくわくする！ 自分もわくわく楽しくなる！ 「わくわく演出マネジメント」21の秘訣！

図書館長は もと映像演出家！

『はなぼん わくわく演出マネジメント』の著者、花井裕一郎さんは、もと映像演出家。なかでもドキュメンタリー作品を多く手がけてきました。

演出をする際に、花井さんが大切にしていたのは、被写体となる人物の心の奥底にある、最も輝く「思い」や、生き方の核となる理念、信条が、映像から自然と視聴者に伝わるように撮影・編集をすることでした。

たとえば、その人物のありのままの姿、気負わない自然な表情や動作を撮影したいとき、目の前であからさまにカメラを回していたら、希望は叶いません。



そんなときは、たとえば何時間、何日間という長い時間をかけて、その人物と行動をともにし、相手にとって「カメラがある環境」が当たり前になるまで待つのです。相手がカメラをまったく意識しなくなったとき、初めて自然な姿を撮影することができるのです。

また演出は、撮影のときだけでなく、映像の編集段階でも必要になります。自分の意図するイメージをしっかりと作り上げるためには、それぞれの担当スタッフと密接にコミュニケーションをとり、演出家の思いをしっかりと共有し、互いに信頼関係を築いていくことが不可欠



せません。そのために花井さんは、現場の雰囲気づくりにとことん心を配り、みんながもてる力を存分に発揮できる環境をつくっていったと言えます。

わくわく演出で 文化の拠点をつくる

こうした演出家としての経験は、組織のマネジメントにもそのまま応用できるものでした。

家族で小布施に移り住み、公募された図書館長の職に立候補、当選された花井さんは、演出で培った手法を駆使して、「交流と創造を楽しむ、文化の拠点」としての新図書館「まちとよテラス」を率いてきました。

「まちとよテラス」の理念を、スタッフや住民と広く共有するために、花井さんが探り当てたキーワードが、「わくわく」でした。

まず、図書館で働くスタッフたちが、日々の仕事にわくわくできること。

そのために花井さんは、スタッフ一人ひとりのコミュニケーションを大切にし、その人は何を楽しいと感じるのか、どんな場面で輝けるのかを観察しつつしてきました。好きなこと、得意なことに携わるとき、人はわくわくし、自分の能力を惜しみなく発揮します。また自発的に動きだします。

花井さんは、スタッフの「好き」「得意」を引き出しながら、「自ら動き出す瞬間」をじっと待ちました。いよいよ行動を起こしたときには、信頼してすべてを託しました。

そんなやりとりの積み重ねによって、一人ひとりが持ち味を生かしながら、互いを理解しあい、尊重しあい、支えあって、利用者がわくわくする場がどんどんできあがっていきました。

人と本、人と情報、人と人を つなぐ図書館

「まちとよテラス」を一言で言うなら、「人が集い、躍動する図書館」と言えるのではないのでしょうか。

ここには、じつにさまざまな人たちが集います。本を読んだり、勉強をしたりする人はもちろん、待ち合わせ場所として利用する人や、隣接する小学校の校庭で走り回った後の子どもたちもやってきます。小布施を訪れた旅人が、町の情報を求めて来ることもあります。メディアで「まちとよテラス」の報道を見聞した人たちが、花井さんに会いに来ることも珍しくありませんでした。

さらに、同館が催す講演会やワークショップ、朗読会やライブなど、さまざまな機会に、町内外から人が集まります。

「まちとよテラス」は、蔵書と人、蔵書とイベントをさまざまに関連づけて、人と本との出会いを提供してくれます。本に限らず、映像や芸術作品など、多彩な「資料」を介して、広い世界へと誘ってくれます。



そんな空間を、スタッフや住民というよに育ててきた花井さん。『はなぼん』では、その花井さんの演出手法を21の「わくわく演出マネジメント」論にまとめ、一挙にご紹介しています。組織運営はもちろん、どなたでも、どんな場所でも、良好なコミュニケーションに役立つ考え方やアイデアがいっぱいです。

『はなぼん～わくわく演出マネジメント』出版記念の文屋座 「お話の会とお祝いの宴」ご案内

まちとよテラス前館長で演出家の花井裕一郎さん。彼の初めてのご著書出版を記念して、花井さんのお話を聞き、花井さんを囲んでお祝いする文屋座を開催します。小布施堂のご主人・市村次夫様のご理解とご支援をいただいております“プレミアムナイト”をお楽しみください。

文屋座は、読み手と書き手と作り手が、出会い、学び、語りあう文化サロンです。どなたさまも、お気軽にご参加いただけます。みなさまのお申し込みをお待ちしております。

2013年1月17日(木)

【お話の会】 18時30分から19時50分（18時～受付） 市村次夫様邸お座敷

- ・花井さんのお話
- ・数原秀樹さんの進行で、市村次夫さんと花井さんの語らい

【お祝いの宴】 20時～ 小布施堂本店

参加費 お話の会 2,000円＋お祝いの宴 5,000円（税込）
（どちらかの参加でもかまいません。いずれも事前予約制です。
参加費は会場にて申し受けます） 定員 いずれも80人

予約方法 文屋ホームページ（<http://www.e-den-en.net>）の申込フォームが
便利です。電話、FAX、郵送、メールでも承ります。